

SAPPORO
TENJINYAMA
ART STUDIO
ANNUAL REPORT
(April 2022 - March 2023)

さっぽろ天神山アートスタジオ2022年度活動記録集



雪のうえにのびる道

札幌は雪の都市だ。雪が降ると境界線を見失う。雪が降る前に歩いていた歩道が消えて、新しいショートカットやだれかがなにかに惹かれて寄り道したであろう謎の導線が雪原に現れてくる。雪の上に縦横無尽に（いや、だれかのルールや好奇心によって）描かれる足跡。それらの足跡は、ある場所、ある地域でリサーチをするアーティストたちの足跡のように見えてくる。

パンデミックであらわになったのは、政府によって、歴史によって、そして社会によって、自然によってつくられたさまざまな境界線の存在の強さだ。特に社会的な境界線の出現によってまなざしすら地獄になりうるということを体験するようでもあった。パンデミック発生から3年目の2022年は、それをきっかけに現れ、否応無しに突きつけられた境界線の上に、アーティストの好奇心のまま残された足跡をかぶせて曖昧にしていこうとした。やわらかく曖昧にすることで、交わらなかった線と線に新しい接点が生じて思いもよらない新しい線が見えてくる、阿弥陀籤のように次に向かうきっかけになると考えたからだ。

だが、境界線をあいまいにしようとするれば、かえって境界線が意識される。そして境界線はそのほとんどが実際は目に見えないことにも気づく、目に見えないから想像する。そのときの想像が私たちの行動を矮小化して封じることのないように、広さや深みを恐れぬようにいまはまた、想像することからのやりなおしなのだ。想像力は新しいものやことへの好奇心、ポジティブな方向に私たちが向くための、私たちがもっている力だ。

春が来ると雪が消えてしまうけれど、また季節は巡る。またたくさん足跡ができていき、私たちは繰り返し想像する。

（2022年度国際公募AIRプログラムテーマより）

さっぽろ天神山アートスタジオのこと。

この記録集は、2022年度の1年間を振り返りドキュメントをまとめたものです。ただ、この記録集を制作しているのは、その翌年2023年度（現在）であり2023年度は2014年5月31日の開館から数えて10年目となります。そこで、天神山アートスタジオの営みとはなんだったのかを改めて説明します。

1. アーティスト・イン・レジデンス

令和5年度に発行されている「さっぽろの文化行政」では、さっぽろ天神山アートスタジオは、『札幌国際芸術祭2014の開催を契機に、旧天神山国際ハウス（平成20年閉鎖）を改修し、市内を始め国内外のアーティストが札幌に滞在しながら創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」型のスタジオと、市民とアーティストが交流することができる機能を併せ持つ施設として、平成26年5月31日に開館。アーティストが創造的活動を行う場を提供しながら、その活動を支援するとともに、市民がアーティストと交流し、アートの視点や表現に触れることを通じて創造性を高め、自ら地域の魅力や資源を再発見することで、地域の活性化に繋げることを目指している』と説明されています。ここで用いられている「アーティスト・イン・レジデンス（以下、AIR）」という事業名称は、多様な目的のもと日本や世界中で運営がなされており、芸術文化分野においてはその名称とそれが意味する内容は広く理解されています。天神山アートスタジオでは、

『札幌・北海道における創造的活動を行う人（アーティスト）を励まし支援する』AIRの原点のような目的を掲げ運営を実践してきました。国籍、活動分野、キャリアレベルも目的も問わず、創造的活動を行う18歳以上であれば、だれにでも公平に開かれた公的な支援です。なぜ、アーティストの「創作段階」の活動を支援するのか＝AIRを運営するのか、という問いに対する答えは芸術文化分野におけるファームに相当するためです。豊かな市場のために枯渇することのない芸術文化資源を生み出し育てるという役割がAIRにはあります。この他の事業にはないAIRのありようから、AIRは芸術文化分野におけるインフラと喩えられています。

2014年5月末から2023年3月末までに、天神山アートスタジオに滞在し、札幌で活動を行った市内、道内、国内外のアーティストなど（創造的活動を行う人）は、その活動分野や活動形式は多岐にわたり、累計2,541名です。

2. 天神山アートスタジオは人のいる場所、交流の装置である

『市民との交流』は、アーティストがある場所で活動する全過程において起こります。一時的にでもある場所に暮らす、通う、なにかをここでやろうとするときに起こるあたりまえのことです。さらに、天神山アートスタジオの施設特性を活用して、この施設に市内外・道内外・国内外のAIRアーティストたちがいること、活動するとき（byアーティスト）/支援するとき（by天神山アートスタジオ）に自然に起こることとして意外と緻密に設計し、独特な手法でアーティストへの支援と市民との交流に取り組んできました。AIR拠点には、『アーティスト』がいます。天神山アートスタジオには『市民』が通います、この二者を同じ場所で自然に滞留させるためパブリックスペースプロジェクト（長居したくなるような仕掛けを館内外に点在させる＝楽器・卓球台・書籍を含む芸術文化資料のライブラリー、庭プロジェクト、売店の運営、滞在アーティストによるワークショップ、公開制作、展示など多様な創造的活動の公開）を日常的に実施しています。

この場所が、札幌市中心部から約30分でたどりつく、市民の暮らしのエリアにある公園の中に位置している文化

施設であることから、多くの市民にとって「毎日の散歩コースの休憩所」だったり、「休日の遊び場」「日常生活からのつかのまの脱出」であり、「身近な居場所」として大いに利用されています。そのため、天神山アートスタジオに滞在しているアーティストが彼ら自身の活動を行う時、偶然に立ち寄った市民とさまざまにでくわすというほかの文化施設にはない瞬間が多く発生します。それらの出会いの瞬間・閃光の出現はAIR（しくみ）と天神山アートスタジオ（場）の組み合わせによる大いなる必然です。

ひとりのアーティストが滞在し創造的活動を行う時に、地域のだれか（なにか）に助けを借りたり、共同制作者や協働する人を求めたり、スタジオの中で制作したアイデアや作品をワークショップ、トーク、展覧会や公演といった自由な形式で他者と共有しますが、そのすべての過程において『交流』が発生します。また、ある場所で一定期間生活をするというだけであっても、まったく他者と関わらないなんてありえないと想像することができるでしょう。一時的にある場所で生活することは、他者と遭遇する、接続されるということです。

3. ゆらぎは伝播する。出会い、遭遇、交流からうまれること。

人が人として生きることと表現することは同じでありながら、それが芸術文化やアート分野として括られる途端に、身近な存在ではなくなります。そのため、苦手だとか自分とは関わりがないといった敬遠する人がでくするのも当然です。そんな心理的なハードルを取り払った（または、最初からなかった）文化施設が、天神山アートスタジオだと考えています。芸術文化とかアートとかを目的にしなくても、ここに来ると、知らない間に「それら」に遭遇しているというどっきりカメラ的な面みがある場所といえるでしょう。創造性は自由でのびのびした状態があって、その人自身には新鮮で思いもよらぬこと（反応、気持ち、思考や行動）が出現してその人を揺らす、動かす作用なのではないか、と思っています。静かな水面に石が投げ込まれて水紋が広がっていくようなイメージです。

そんな自分の中に起こったゆらめきや動きと向き合えるかどうかは、その人次第だろうと思います。表現や感性は人の存在を社会化させるためにだれにでも備わっています。

また、それらは尊重をもって人と人をわかつものでもあります。表現や感性に思考、創造的行為を組み合わせることで、芸術活動、文化活動へと展開していきます。アーティストとは、なんらかの理由でここに最も重きをおいて生きている人たちを指します。彼らが特別なのは、誰にでも起こるゆらぎに対峙して、そこに反応でき、反応をなんらかの形にする技術を身につけているため、私たちは彼らの活動を通してそれらのプロセス、技術、そこから生まれるものやことを知ることができます。天神山アートスタジオでは、「知る機会」「心が動く瞬間」がだれにでも、アーティストにも市民にも、開かれています。

このドキュメントをみて、どこでどんな遭遇が起こったのかなど、想像してみてください。偶然の出会いがそのひとそれぞれの日常を、そしらぬ顔して変えていけていたらいいのに、と今日も願っています。



Artists & Events Record

2022年度滞在アーティストデータ

イベント

■日時/イベント種類（公開制作/アーティスト・トーク/写真展/
滞在成果展/ワークショップ等）/タイトル/アーティスト名/
企画など/場所

滞在アーティスト

●アーティスト名（日本語表記）/アーティスト名（アルファ
ベット表記）/特記/活動拠点/活動分野/活動内容

04

桜開花

Apr. 2022



■2022年4月29日（金・祝）-5月22日（日）/展示/ AIRアーカイブ展
「アーティストが札幌でなにをした？」/ アドルト、ラヘーズ・タリフ、
アロン・マックラウド



●ジェイミ・ハンフリーズ/ Humphreys, Jaime/ 神奈川県
/美術/ その他（田中学園での指導）●ハンフリーズ 優紀/
Humphreys, Yuki/ 神奈川県/ その他/ その他（田中学園での指
導）●長坂 有希/ Nagasaka, Aki/ 大阪府/ 美術/ リサーチ活動
●チョコ/ Chiko/ 札幌市/ 美術/ 創作活動 ●きたまり/ Kitamari/
京都府/ ダンス/ リサーチ活動 ●木内 裕子/ Kinouchi, Yuko/
東京都●/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動

05

海外在住アーティストの受入再開

アートとリサーチセンター（アーカイブ資料室）完成

May 2022



ジェイミ・ハンフリーズによる田中学園での授業風景

●ヒデミニシダ/ Nishida, Hidemi/ 東京都/ 美術/ 展示「BACK
TO LAND -芸術の労働者たち-」/CAI03 ●ピアカルロ・クイッ
キア/ Quecchia, Piercarlo/ イタリア/ 写真/ 展示「BACK TO
LAND -芸術の労働者たち-」/CAI03 ●伊藤賢一/ Ito, Kenichi/
東京都/ 音楽/ 創作活動、その他（リハーサルなど）●三好紅/
Miyoshi, Hana/ 千葉県/ 音楽/ 創作活動、その他 ●竹ノ内淳志/
Takenouchi, Atsushi/ イタリア/ ダンス/ 公演「北海道舞踏フェス
ティバル2024プレパフォーマンス・Butoh DNA」/豊平館、小樽
美術館 ●小宮広子/ Komiya, Hiroko/ イタリア/ 音楽/ 公演
「北海道舞踏フェスティバル2024プレパフォーマンス・Butoh DNA」
/豊平館、小樽美術館 ●坂口千秋/ Sakaguchi, Chiaki/ 東京都/
美術/ リサーチ活動 ●張小船/ Boat, ZHANG/ 東京都/ 美術/ 創作
活動、その他（田中学園での指導）●小林 耕二郎/ Kobayashi,
Kojiro/ 東京都/ 美術 ●スタジオエフ/ studio f design/ 愛媛県/
工芸/ リサーチ活動



■2022年6月-9月/ワークショップ/庭プロジェクト



■2022年6月18日(土)-7月17日(日)週末のみ/ショップ/
パトキカイ(アートな道の駅)



伊藤忠さんのウッドベース練習



●日高 恵理香/ Hidaka, Erika/ 東京都/ その他(建築)/ 展示「第2回札幌駅前通アワード」受賞作品展 ●澤木 華/ Sawaki, Hana/ 静岡県/ その他(建築)/ 展示「第2回札幌駅前通アワード」受賞作品展サポート ●後藤 小町/ Goto, Komachi/ 他1名/ イギリス/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動 ●高間 梓弓/ Takama, Azusa/ 函館市/ その他/ 創作活動 ●アコ/ aco/ 埼玉県/ その他/ 創作活動 ●サユリ/ Sayuri/ 京都府/ その他/ 創作活動 ●青木 美由紀/ Aoki, Miyuki/ 岩手県/ 演劇/ 展示・公演 ●日高 恵理香/ Hidaka, Erika/ 東京都/ その他(建築)/ 展示「第2回札幌駅前通アワード」受賞作品展/札幌駅前通地下歩行空間「チ・カ・ホ」●長坂 有希/ Nagasaka, Aki/ 大阪府/ 美術/ リサーチ活動 ●五十嵐 靖晃/ Igarashi, Yasuaki/ 千葉県/ 美術/ 公演「協働から生まれる風景～自然と人間との関わり方の術としてのアート～」/札幌市立大学 ●木元 太郎/ Kimoto, Taro/ 京都府/ 演劇/ 公演「フリー/アナウンサー」/シアターZOO ●能政 タ介/ Nose, Yusuke/ 京都府/ 演劇/ 公演「フリー/アナウンサー」/シアターZOO ●北方 こだち/ Kitagata, Kodachi/ 京都府/ 演劇/ 公演「フリー/アナウンサー」/シアターZOO ●渡辺 佳奈/ Watanabe, Kana/ 京都府/ 演劇/ 公演「フリー/アナウンサー」/シアターZOO ●森永 恭代/ Morinaga, Yasuyo/ 京都府/ 演劇/ 公演「フリー/アナウンサー」/シアターZOO ●あごう さとし/ Ago, Satoshi/ 滋賀県/ 演劇/ 公演「フリー/アナウンサー」/シアターZOO ●吾郷 泰英/ Ago, Yasue/ 滋賀県/ 演劇/ 公演「フリー/アナウンサー」/シアターZOO ●当山 彰一/ Touyama, Shouichi/ 沖縄県/ 演劇/ その他(全国小劇場ネットワーク総会) ●鳥袋 道浩/ SHIMABUKU/ 沖縄県/ 美術/ その他 ●水上 秀一/ Mizukami, Shuichi/ その他(国際公募選考委員ミーティング参加) ●梅田 哲也/ Umeda, Tetsuya/ 大阪府/ 美術/ その他 ●グッドベン・ゴンサ/ Gonza, Godven/ 大阪府/ 音楽/ 展示・公演 ●モスケラ・ジョージ/ George, Mosquera/ 大阪府/ 音楽/ 展示・公演 ●佐藤 周作/ Sato, Shusaku/ 東京都/ 美術/ 展示「水解(こおりどけ)」/FABULOUS





■2022年7月2日(土)/コンサート/天神山 Jazz in Wood/ 市民演奏: Pf 朝川茂樹、Ba 伊藤忠、Vo 片平詠子



■2022年7月9日(土)/ワークショップ/こどもワークショップ「ロックペイント」/永田千加子



■2022年7月9日(土)-8月3日(水)/展示/Let's Make Cows Fly! プロジェクトの予告展/島袋道浩



■2022年7月27日(水)/トーク 植村絵美&マイケル・エディと話す会/植村絵美、マイケル・エディ



募金箱設置



華輪キッズの展示

- 石井 則仁 / Ishii, Norihito/ 東京都/ 美術/ 展示「石井則仁 空間美術展 Installation Exhibition がらんどうの庭」/Agt(あじと)
- 加藤 存美 / Kato, Zombie/ 兵庫県/ ダンス/ 展示「石井則仁 空間美術展 Installation Exhibition がらんどうの庭」/Agt(あじと)
- 小西 佐和 / Konishi, Sawa/ 東京都/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動
- 久保 隆徳 / Kubo, Takanori/ 富良野市/ 演劇/ 創作活動
- 前田 譲 / Maeda, Yuzuru/ 岐阜県/ 音楽、ダンス/ 創作活動
- 関戸 哲也 / Sekido, Tetsuya/ 愛知県/ 演劇/ 創作活動、演劇ワークショップ「宇宙空地の作り方」/札幌あけぼのアート&コミュニティセンター
- 華輪 美知子 / Hanawa, Michiko/ スイス/ 音楽/ 創作活動、リサーチ活動
- クリスティアン・フィッシャー / Fischer, Christian/ スイス/ 音楽/ 創作活動、リサーチ活動
- 植村 絵美 / Uemura, Emi/ カナダ/ 美術/ リサーチ活動
- マイケル・エディ / Eddy, Michael/ カナダ/ 美術/ リサーチ活動
- 児玉 北斗 / Kodama, Hokuto/ 京都府/ ダンス/ リサーチ活動、その他(人材育成事業の講師)
- 鼓代 弥生 / Kodai, Yayoi/ 札幌市/ 美術、音楽/ 創作活動、リサーチ活動
- 町田 妙子 / Machida, Taeko/ 東京都/ ダンス/ 創作活動、リサーチ活動
- 平原 慎太郎 / Hirahara, Shintaro/ 神奈川県/ ダンス/ 創作活動、リサーチ活動
- 櫻井 麻樹 / Sakurai, Maki/ 東京都/ 演劇、ダンス/ 創作活動



■2022年8月2日(火)トーク/アーティストトーク/華輪美知子(ティム&ミミ)、ポート・チャン、小西佐和、前田謙



■2022年8月4日(木) - 6日(土)/展示/Mink/Sensorium Ventorum、小西佐和



●長坂 有希/ Nagasaka, Aki/ 大阪府/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動 ●広瀬 利勝/ Hirose, Toshikatsu/ 富良野市/ 演劇/ 創作活動 ●青木 陵子/ Aoki, Ryoko/ 京都府/ 美術/ 展示「ながめのいい場所」/50m美術館 ●津村 知与支/ Tumura, Noriyoshi/ 東京都/ 演劇/ 公演「五月、忘れ去られた庭の片隅に花が咲く」/シアターZOO ●犬飼 淳治/ Inukai, Junji/ 東京都/ 演劇/ 公演「五月、忘れ去られた庭の片隅に花が咲く」/シアターZOO ●智順/ Chisun/ 東京都/ 演劇/ 公演「五月、忘れ去られた庭の片隅に花が咲く」/シアターZOO ●黒沼 弘己/ Kuronuma, Hiromi/ 東京都/ 演劇/ 公演「五月、忘れ去られた庭の片隅に花が咲く」/シアターZOO ●鄭 義信/ Chong, Wishing/ 東京都/ 演劇/ 公演「五月、忘れ去られた庭の片隅に花が咲く」/シアターZOO ●大原 尚峻/ Ohara, Naotaka/ 茨城県/ 演劇/ 公演「ダブリンの鐘つきカビ人間」/コンカリーニョ ●青木 美由紀/ Aoki, Miyuki/ 岩手県/ 演劇/ 公演「朗読劇 家族草子札幌組公演2022」/渡辺淳一文学館 ●ジャック・マクリーン/ Mclean, Jack/ 東京都/ 美術/ 展示「実践のための入門編〜コロナ禍で、そしてさっぽろ天神山アートスタジオで制作した近作絵画より〜」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース、その他(田中学園での指導) ●明貫 紘子/ Myokan, Hiroko/ 石川県/ 美術/ リサーチ活動 ●仲本 拓史/ Nakamoto, Hirofumi/ 神奈川県/ 美術/ リサーチ活動 ●中井 悠/ Nakai, Yu/ 東京都/ 美術/ リサーチ活動 ●井上 修志/ Inoue, Shuji/ 宮城県/ 美術/ リサーチ活動 ●梅田 哲也/ Umeda, Tetsuya/ 大阪府/ 美術/ リサーチ活動 ●川上 りえ/ Kawakami, Rie/ 石狩市/ 美術 ●グエン・アン・チュアン/ Anh Tuan, Nguyen/ ベトナム/ 美術/ リサーチ活動 ●ティ・フエン・ファム/ Huyen Pham, Thi / ベトナム/ リサーチ活動 ●メイタオ・ク/ Qu, Meitao/ イギリス/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動 ●長坂 有希/ Nagasaka, Aki/ 大阪府/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動 ●大原 尚峻/ Ohara, Naotaka/ 茨城県/ 演劇/ 展示・公演 ●鈴木 三枝子/ Suzuki, Mieko/ 東京都/ 演劇/ 創作活動 ●稲村 太郎/ Inamura, Taro/ 東京都/ 演劇/ リサーチ活動 ●ラリー・ウォルシュ/ Walsh, Larry/ オーストラリア/ 演劇、ダンス/ リサーチ活動 ●ダン・ミッチェル/ Mitchell, Dan/ オーストラリア/ 演劇、ダンス/ リサーチ活動



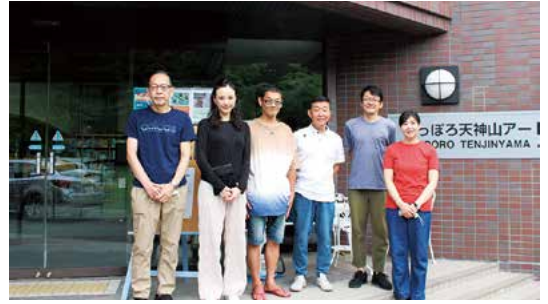
■2022年9月3日(土) - 10月30日(日) / 祝週末のみ / ショップ / バトキカイ (アートな道の駅)



■2022年9月18日(日) / イベント / 天神山文化祭2022 / レイン・カニングハム、ホジェリオ・ソアレス、ジャック・マクレーン



■2022年9月23日(金・祝) - 25日(日) / イベント / パフォーミング・アーツ「わたし、と、ぼぼぼび」/ 平尾拓也・池田優香・ほか1名



●ホジェリオ・ソアレス / Soares, Rogerio / カナダ / 美術 / 創作活動、アーティストトーク ●レイン・カニングハム / Laine, Cunningham / アメリカ / 美術 / 創作活動 ●平尾 拓也 / Hirao, Takuya / 札幌市 / 演劇、ダンス / 公演「わたし、と、ぼぼぼび」 / さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース ●遠藤 純一郎 / Junichiro, Endo / 東京都 / 美術 / リサーチ活動 ●長坂 有希 / Aki, nagasaka / 大阪府 / 美術 / 創作活動 ●吉田 彩花 / Ayaka, Yoshida / 広島県 / 美術、映像 / 創作活動 ●白濱 雅也 / Masaya, Shirahama / 豊頃町 / 美術、写真 / 展示「浄土(と穢土)～還るところ」 / To ov Cafe gallery ●栗栖 マキ / Maki, Kurusu / 白老町 / 美術、デザイン / リサーチ活動、ディレクターインタビュー ●安倍 純子 / Abe, Junko / 白老町 / 美術、デザイン / リサーチ活動、ディレクターインタビュー ●阿部 民子 / Abe, Tamiko / 沖縄県 / 音楽 / 展示・公演 ●木村 千枝 / Kimura, Chie / 宮城県 / 音楽 / 展示・公演 ●長田 尚子 / Nagata, Syoko / 沖縄県 / 音楽 / 展示・公演 ●やまのほみか / Yamanoha, Mika / 沖縄県 / 音楽 / 展示・公演 ●鶴沢 あかね / Tokizawa, Akane / 埼玉県 / 音楽 / 展示・公演 ●マヒナ / Yamahira, Kyoko / 沖縄県 / 音楽 / 展示・公演 ●泉 洋一 / Izumi, Yoichi / 沖縄県 / 音楽 / 展示・公演 ●山田 竜大 / Yamada, Tatsuhiko / 札幌市 / 演劇 / 公演「郷愁の丘ロマンピア」 / シアターZOO ●塚本 恵理子 / Tsukamoto, Eriko / 東京都 / 演劇 / 公演「落ちてきた糸電話 vol.1 「三月の毛糸」 / 「十三月怪談」 / 入間市文化創造アトリエAMIGO! 多目的ルーム ●数間 啓乃 / Kazuma, Yoshino / 東京都 / 美術、音楽、映像 / 創作活動



紅葉



■2022年10月2日(日)/イベント/地球ハーモニーフェスティバル/阿部民子、ほか



■2022年10月15日(土)/トーク/アーティストトーク/ホジェリオ・ソアレス、ジャック・マクレーン、レイン・カニングハム、メイトオ・ク、ホア・タン・グレン



ジャック・マクレーンの公開制作



●伊藤 賢一/ Ito, Kenichi/ 東京都/ 音楽/ 展示・公演 ●坂本 友希/ Sakamoto, Yuki/ 南富良野町/ 工芸/ 展示・公演 ●ホア・タン・グエン/ Nguyen, Hoa Thanh/ オーストラリア/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動 ●倉知 朋之介/ Kurachi, Tomonosuke/ 神奈川県/ 美術、映像/ 創作活動 ●インゲ・トリネケン/ Trienekens, Inge/ ドイツ/ 美術、写真/ 展示「Square-shaped heart」/CAI03、創作活動、リサーチ活動 ●モアタズ・アーカイジー/ Alqaisy, Moataz/ ドイツ/ 美術、写真/ 展示「Square-shaped heart」/CAI03、創作活動、リサーチ活動 ●野村 有志/ Nomura, Yuji/ 大阪府/ 演劇/ 公演「ぶらすのと☆えれき「沼部、陸へ上がる」」/シアターZOO ●工藤 玲那/ Kudo, Reina/ 宮城県/ 美術/ 展示「TRADING HOME vou to ie」/ie ●堀 奏太郎/ Hori, Sotaro/ 京都府/ 美術/ 展示「TRADING HOME vou to ie」/ie ●米村 優人/ Yonemura, Yuto/ 京都府/ 美術/ 展示「TRADING HOME vou to ie」/ie ●田中 達也/ Tanaka, Tatsuya/ 東京都/ 演劇/ 公演「Stokes/Park『フゴッベ洞窟の翼をもつ人』」/演劇専用小劇場BLOCH ●北村 青子/ Kitamura, Seiko/ 東京都/ 演劇/ 公演「Stokes/Park『フゴッベ洞窟の翼をもつ人』」/演劇専用小劇場BLOCH ●河合 諒/ Kawai, Ryo/ 東京都/ 演劇/ 公演「Stokes/Park『フゴッベ洞窟の翼をもつ人』」/演劇専用小劇場BLOCH ●平井 泰成/ Hirai, Yasunari/ 東京都/ 演劇/ 公演「Stokes/Park『フゴッベ洞窟の翼をもつ人』」/演劇専用小劇場BLOCH ●植野 智子/ Ueno, Tomoko/ 埼玉県/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動



ホジェリオ・ソアレス、ガラス作家上杉さんの工房で制作

コクサクさんがジャックのTシャツを気に入る
国際公募AIRプログラムはじまる



■2022年11月1日(火)-12月20日(火)/国際公募AIR/同時期滞在日本 雪の上のにびる道/Alexandre Kato + Soshi Matsunobe, Vindur



■2022年11月8日(火)-11日(金)/公開制作/500m美術館に展示する作品を制作中!/深澤孝史



■2022年11月8日(火)-23日(水・祝)/展示/Square-shaped heart/インゲ・トリネケン、モアアズ・アーカイジー



■2022年11月16日(水)-30日(水)/展示/An Introduction to The Practice/Jack Maclean

●松延 総司/ Matsunobe, Soshi/ 滋賀県/ 美術/ 022年度国際公募AIRプログラム ●アレクサンドル・カトー/ Kato, Alexandre/ フランス/ 美術/ 2022年度国際公募AIRプログラム ●升谷 絵里香/ Masuya, Erika/ 千葉県/ 美術/ 2022年度国際公募AIRプログラム ●アラナ・グレゴリー/ Gregory, Alana/ アイスランド/ 美術/ 2022年度国際公募AIRプログラム ●大内 厚雄/ Ouchi, Atsuo/ 東京都/ 演劇/ 公演「劇団イナダ組30周年記念公演『ライナス』-忘れてしまった大切な何かを探す旅が今、始まる-」/道新ホール ●松嶋 奈々夢/ Matsushima, Nanami/ 東京都/ 演劇/ 公演「フゴッペ洞窟の翼をもつ人」/演劇専用小劇場BLOCH ●北村 青子/ Kitamura, Seiko/ 東京都/ 演劇/ 公演「フゴッペ洞窟の翼をもつ人」/演劇専用小劇場BLOCH ●深澤 孝史/ Fukasawa, Takafumi/ 札幌市/ 美術/ 展示「笑う門には福きたる-Fortune comes in by a merry gate」/500m美術館、オープンスタジオ/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース ●保良 雄/ Yasura, Takeshi/ 千葉県/ 美術/ リサーチ活動 ●前田 真治/ Maeda, Shinji/ 東京都/ 美術/ 展示「Big Buddha Project - 令和の大仏造立 -」/モエレ沼 ●アナ・ロサ・イバネス/ Ibanez, Ana, Rosa,/ 他1名/ ドイツ/ 美術/ 「TONBOによるアーティストトーク」/さっぽろ天神山アートスタジオ交流サロン ●ニコラス・マッツネル/ Matzner, Nicolas/ ドイツ/ 美術/ 「TONBOによるアーティストトーク」/さっぽろ天神山アートスタジオ交流サロン ●ジャック・マクリーン/ Mclean, Jack/ 東京都/ 美術/ 展示「実践のための入門編〜コロナ禍で、そしてさっぽろ天神山アートスタジオで制作した近作絵画より〜」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース、その他(田中学園での指導) ●坂口 千秋/ Sakaguchi, Chiaki/ 東京都/ 美術/ リサーチ活動 ●小林 清乃/ Kobayashi, Kiyono/ 東京都/ 美術/ 創作活動、リサーチ活動 ●ウィク・マ/ Ma, Wik/ 香港/ 美術、文芸/ 「馬域+蒼野甘夏による詩の朗読会」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース ●加藤 雅子/ Kato, Masako/ ドイツ/ 美術/ リサーチ活動 ●造類/ Zoryu/ 韓国/ 美術/ 展示「おかま"Okama"」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース ●蒼野 甘夏/ Aono, Amanatsu/ 石川県/ 美術/ 展示「六花繚乱」/ギャラリー・オマージュ、「馬域+蒼野甘夏による詩の朗読会」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース

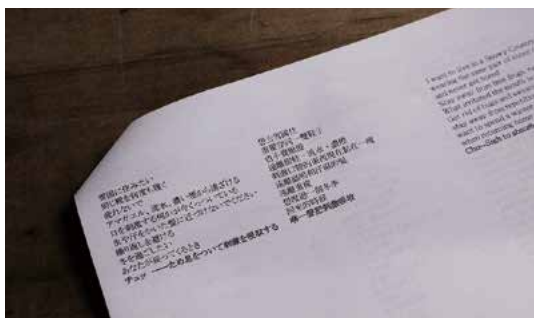


■2022年11月27日(日)/アーティストトーク/TONBO(アナ・ロサ・イバネス&ニコラス・マッツネル)





■2022年12月2日(金) - 4日(日) / 展示 / OKAMA / Zoryu



■2022年12月4日(日) / イベント / 詩の朗読会 / 馬域、蒼野甘夏



■2022年12月8日(木) / イベント / 満月の夜の散歩会(詩の朗読会) / ソフィ・デ・シリエ、マシュー・ウォング



■2022年12月25日(日) / ワークショップ / カラリパヤット(ヨガ) / アラナ・グレゴリー



●ソフィ・デ・シリエ / Seriere, de, Sophie / ベルギー / 美術 / 創作活動、リサーチ活動 ●マシュー・ウォング / Wang, Matthew / ベルギー / 美術 / 創作活動、リサーチ活動 ●前田 真治 / Maeda, Shinji / 東京都 / 美術 / 展示「Big Buddha Project - 令和の大仏造立 -」 / モエレ沼 ●實裕 あかね / Sanehiro, Akane / 東京都 / 演劇 / 公演「PROOF」 / ことにパトス ●坂東七笑 / Bando, Nanae / 東京都 / 演劇 / 公演「PROOF」 / ことにパトス ●増澤 ノゾム / Masuzawa, Nozomu / 京都 / 演劇 / 公演「PROOF」 / ことにパトス ●菊池 友華 / Kikuchi, Tomoka / 埼玉県 / 演劇 / 公演「PROOF」 / ことにパトス ●大場 正之 / Oba, Masayuki / 東京都 / 演劇 / 公演「PROOF」 / ことにパトス ●柴 一平 / Shiba, Ippei / 東京都 / ダンス / 創作活動、リサーチ活動 ●佐藤 琢哉 / Sato, Takuya / 千葉県 / ダンス / 創作活動、リサーチ活動 ●池上 たっくん / Ikegami, Takkun / 東京都 / ダンス / 創作活動、リサーチ活動 ●青柳 潤 / Aoyagi, Jun / 神奈川県 / ダンス / 創作活動、リサーチ活動 ●町田 妙子 / Machida, Taeko / 東京都 / ダンス / 創作活動、リサーチ活動 ●渡辺 はるか / Watanabe, Haruka / 神奈川県 / ダンス / 創作活動、リサーチ活動 ●島崎 綾 / Shimazaki, Aya / 東京都 / ダンス / 創作活動、リサーチ活動 ●奥山 愛葉 / Okuyama, Mana / 京都府 / 演劇 / リサーチ活動 ●千葉 麻十佳 / Chiba, Madoka / 札幌市 / 美術 / 創作活動 ●上川 藍 / Uekawa, Ai / 東京都 / ダンス / リサーチ活動 ●アリー・シャリフム / Syarifuddin, Arie / インドネシア / 美術 / 訪問交流 ●井上 貴志 / Inoue, Takashi / 札幌市 / 文芸、映像 / 創作活動、リサーチ活動



■2023年1月10日(火)-22日(日)/展示 雪の上のにびる道/
Alexandre Kato + Soshi Matsunobe, Vinður



■2023年1月22日(日)/トーク/北海道AIRミーティング「アーティストの滞在制作の現場 AIR in Hokkaido」/ヒミツキチこひつじ(斜里町)、アートラボ北舟(豊頃町)、当別アーティスト・イン・レジデンス(当別町)、みる・とーぶ(岩見沢市)、清水沢プロジェクト(夕張市)、ツキガタアートヴィレッジ(月形町)、アーティスト・イン・レジデンスあさひかわ(旭川市)



■2023年1月21日(土)-25日(水)/展示/未知の世界への旅/
ラルー・ワヒウ・パールマナ

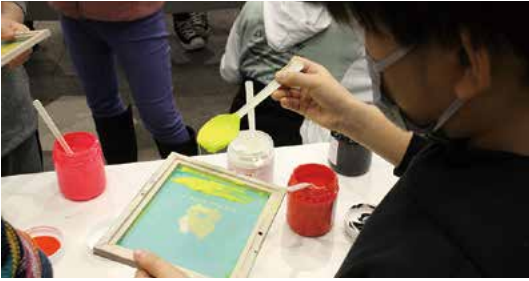


●ウィク・マ/ Ma, Wik/ 香港/ 美術、文芸/「馬域+蒼野甘夏による詩の朗読会」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース
●井上 貴志/ Inoue, Takashi/ 札幌市/ 文芸、映像/ 創作活動、リサーチ活動 ●チャ・チャー/ Chou, Chiao-Chi/ 台湾/ 美術/ 創作活動 ●チェン・イー/ Chen, Yi/ 台湾/ 美術/ 創作活動 ●ロレンス・チュルシー/ Turci, Lorraine/ フランス/ 写真/ 展示「カラスのしなやかさ」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース、創作活動、リサーチ活動 ●セバスチャン・フラブレ/ Fraboulet, Sebastien/ フランス/ 創作活動、リサーチ活動 ●カロリーナ・トリケーシュ/ Triches, Carolina/ スイス/ 写真、映像/ 創作活動、展示・公演 ●アマング・ホドリゲス/ Rodrigues, Amanda/ スイス/ 写真、映像/ 創作活動、展示・公演 ●小松原 悠翔(札幌平岸高等学校放送局)/ Komatsubara, Haruka/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●萩原 みなみ(札幌平岸高等学校放送局)/ Hagiwara, Minami/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●杉山 妃世(札幌平岸高等学校放送局)/ Sugiyama, Hiyo/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●武田 晴斗(札幌平岸高等学校放送局)/ Takeda, Haruto/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●高澤 幸湧(札幌平岸高等学校放送局)/ Takasawa, KouYu/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●黒田 暉(札幌平岸高等学校放送局)/ Kuroda, Hikaru/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●新沼 勇介(札幌平岸高等学校放送局)/ Niinuma, Yusuke/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●白坂 萌綺(札幌平岸高等学校放送局)/ Shirasaka, Moeki/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●塩本 祐気(札幌平岸高等学校放送局)/ Shiimoto, Yuki/ 札幌市/ 映像/ 創作活動 ●千葉 麻十佳/ Chiba, Madoka/ 札幌市/ 美術/ 創作活動 ●ジェイジェイ/ JJ/ ドイツ/ 美術/ 創作活動 ●杉山 夏実/ Sugiyama, Natsumi/ ドイツ/ 美術/ 創作活動 ●マフブーベフ・カライ/ Kalae, Mahboobeh/ イラン/ 映像/ 創作活動、「虚舟(うつろふね)」●ルカ・ロマ/ Roma, Luca/ 香川県/ 美術/ その他(田中学園での指導) ●ラルー・ワヒウ・パールマナ/ Permana, Lalu, Wahyu/ インドネシア/ 美術/ 展示「JOURNEY TO THE UNKNOWN 未知の世界への旅」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース ●スティティ・シャミマ・ブディアルト/ Budiarto, Siti, Syahmina/ インドネシア/ 美術/ 展示「JOURNEY TO THE UNKNOWN 未知の世界への旅」/さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース ●泉 宗良/ Izumi, Sora/ 大阪府/ 演劇/ 創作活動 ●千葉 麻十佳/ Chiba, Madoka/ 札幌市白石区/ 美術/ 創作活動 ●白濱 雅也/ Shirahama, Masaya/ 豊頃町/ 美術/ 北海道AIRミーティングへの参加 ●白濱 真紀/ Shirahama, Maki/ 豊頃町/ 美術/ 北海道AIRミーティングへの参加 ●中山 芳子/ Nakayama, Yoshiko/ 斜里町/ 美術/ 北海道AIRミーティングへの参加 ●前田 真治/ Maeda, Shinji/ 東京都/ 美術/ 展示「Big Buddha Project - 令和の大仏造立 -」/モエレ沼 ●半谷 学/ Hangai, Manabu/ 帯広市/ 美術/ 展示「昨日の名残 明日の気配」/札幌芸術の森美術館 ●松本 大樹/ Matsumoto, Hideki/ 帯広市/ 美術/ 展示「昨日の名残 明日の気配」/札幌芸術の森美術館 ●ブライアン・アレン/ Allen, Brian/ アメリカ/ マルチメディア/ 展示・公演 ●太湯 雅晴/ Futouy, Masaharu/ 札幌市/ 美術/ 展示「Big Buddha Project - 令和の大仏造立 -」/モエレ沼 ●綾門 優季/ Ayato, Yuki/ 神奈川県/ 演劇/ 公演「蹂躞を蹂躞」/シアターZOO ●チャン・シウ・トン/ Chan, Siu, Tung/ 香港/ 演劇/ 創作活動、「こどもパントマイム・ワークショップ」/さっぽろ天神山アートスタジオ交流スタジオA

02

Feb. 2022

メルボルンとオンラインレジデンス
演劇作品制作のため香港から総勢 11 人が滞在



■2023年2月23日(木・祝)/ワークショップ/子どもワークショップ
「スリスリスクリーン☆ぷりぷりぷりん」と/風間雄飛、aobato



■2023年2月26日(日)-3月15日(水)/公開制作/ Uncertain
Contours of Images in Tenjinyama / 諏訪部佐代子

●マフブーベフ・カライ/ Kalae, Mahboobeh/ イラン/ 映像/ 創作活動、「虚舟(うつろふね)」●木村 充伯/ Kimura, Mistunori/ 静岡県/ 美術/ 創作活動 ●チコ/ Chiko/ 札幌市北区/ 美術/ 創作活動 ●コ・ジュヨン/ Koh, Jooyoung/ 韓国/ 演劇/ リサーチ活動 ●山本 さくら/ Yamamoto, Sakura/ 神奈川県/ 美術/ リサーチ活動 ●横尾 圭亮/ Ykoo, Keisuke/ 東京都/ 演劇/ 「舞台上で自由になるためのワークショップ」/ あけぼのアート&コミュニティセンター ●土方 大/ Hijikata, Dai/ 秋田県/ 美術/ リサーチ活動 ●諏訪部 佐代子/ Suwabe, Sayoko/ 千葉県/ 美術/ 同時期滞在日本 AIR プログラム、オープスタジオ「Uncertain Contours of Images in Tenjinyama」/ さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース ●ルム/ rumu/ イタリア/ 美術/ 展示「夢の世界の文書 第一章 Notes on the Dreamworld」/ さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース、和室 ●ベギー/ Pegg/ 香港/ 演劇、映像/ 創作活動、「おはよう合同会社」●ラム・チェン・オン/ Lam, Ching, On/ 香港/ 演劇、映像/ 創作活動、「おはよう合同会社」●ヴィヴィアン/ vivian/ 香港/ 演劇/ 創作活動、「おはよう合同会社」●ヘーゼル/ Hazel/ 札幌市/ 美術/ 創作活動、「おはよう合同会社」●ダッキー・ユン/ Ducky, Yuan/ 大阪府/ 演劇、映像/ 創作活動、「おはよう合同会社」●ジャム/ Jam/ 京都府/ 演劇、映像/ 創作活動、「おはよう合同会社」●チェン・ティン・チュン/ Chen, Ting, Chang/ 台湾/ 写真、映像/ 創作活動、「おはよう合同会社」●ソ・チェン・フォン/ So, Chen, Feng/ 台湾/ 写真、映像/ 創作活動、「おはよう合同会社」●横須賀 明/ Yokosuka, Akira/ 千葉県/ その他(諏訪部佐代子のアシスタント)/ 諏訪部佐代子のアシスタント ●チ・エン/ Tsz, Yan/ 香港/ 演劇/ 創作活動、「おはよう合同会社」●チャオ・イヴァ/ Chau, Eva/ 香港/ 演劇/ 創作活動、「おはよう合同会社」●池田 優香/ Ikeda, Yuuka/ 演劇/ 創作活動、「おはよう合同会社」

03

Mar. 2022

アイヌ文化をもとめて
道内各地へ向かうアーティストたち



■2023年3月21日(火・祝)/トーク/アーティストトーク/
服部文祥、石川竜一、宮本一行



■2023年3月29日(水)-4月2日(日)/展示/カラスのしなやかさ/
ロレンス・チェルシ

●マッド/ MAD/ 神奈川県/ 美術、音楽/ 創作活動、リサーチ活動、展示・公演 ●マーク・ドナヒュー/ Donoghue, Mark/ アメリカ/ 美術/ 創作活動 ●エルネスト・ドゥアナス/ Duenas, Ernesto/ カナダ/ 美術/ 創作活動 ●半谷 学/ Hangai, Manabu/ 帯広市/ 美術/ 展示「昨日の名残 明日の気配」/ 札幌芸術の森美術館 ●松本 英樹/ Matsumoto, Hideki/ 帯広市/ 美術/ 展示「昨日の名残 明日の気配」/ 札幌芸術の森美術館 ●千艘 えり菜/ Senso, Erina/ 東京都/ その他(諏訪部佐代子のアシスタント)/ 創作活動、リサーチ活動 ●大内 実央/ Oouchi, Mio/ 東京都/ その他(諏訪部佐代子のアシスタント)/ 創作活動、リサーチ活動 ●藤本 正則/ Fujiki, Masanori/ 美術/ リサーチ活動 ●岩田 拓朗/ Iwata, Takuro/ 札幌市/ その他/ リサーチ活動 ●宮本 一行/ Miyamoto, Kazuyuki/ 札幌市/ 美術/ トークイベント「Vol. 4「共生」—サバイブするアートの旅」/ さっぽろ天神山アートスタジオ談話交流スペース ●服部 文祥/ Hattori, Bunsyo/ 神奈川県/ その他/ トークイベント「Vol. 4「共生」—サバイブするアートの旅」/ さっぽろ天神山アートスタジオ談話交流スペース ●石川 竜一/ Ishikawa, Ryuichi/ 沖縄県/ 写真/ トークイベント「Vol. 4「共生」—サバイブするアートの旅」/ さっぽろ天神山アートスタジオ談話交流スペース ●ディアン・アロミンティアス/ Arumningtyas, Dian/ インドネシア/ 美術/ リサーチ活動 ●諏訪部 佐代子/ Suwabe, Sayoko/ 千葉県/ 美術/ 同時期滞在日本 AIR プログラム、オープスタジオ「Uncertain Contours of Images in Tenjinyama」/ さっぽろ天神山アートスタジオ展示スペース ●ウエル/ ueru/ 札幌市/ 音楽/ 創作活動 ●ウエル/ ueru/ 洞爺湖町/ 音楽/ 創作活動 ●坂口 千秋/ Sakaguchi, Chiaki/ 東京都/ 美術/ 創作活動



photo by Jay JAF

交換AIRプログラム インドネシア

Jatiwangi Art Factory

snow embassy

① documenta fifteen (カッセル、ドイツ) にアーティストを派遣。

【なぜ、さっぽろ天神山アートスタジオが document fifteen に? - Jatiwangi Art Factory との交換プログラム・ストーリー -】

2021年から、天神山アートスタジオと交換プログラム(AIR)をスタートしたJatiwangi Art Factoryが、documenta fifteen (カッセル、ドイツ)にlumbung membersの一員となり参加した。ドクメンタでは共同プロジェクトとして取り組んでいるterra cotta embassyのアイデアを拡張させて、ほかのコレクティブと協働しながら日々、生活とプレゼンテーションを重ねて開催。7月のパフォーマンス・ウィークにterra cotta embassyプロジェクト・パートナーであるさっぽろ天神山アートスタジオは、将来インドネシア現地にできるかもしれないsapporo-snow embassyに灯す照明を制作してもらおうと構想していた梅田哲也に、Jatiwangi Art Factoryと直接ミーティングしてもらおうべくドクメンタにいてもらい、パフォーマンスで参加してもらおう計画を実行した。(支援:文化庁)

時期: 2022年7月

イベント: 2022年7月16日(土)





② アリー・シャリフディン / Jatiwangi Art Factory の札幌視察

コロナ禍の2021年度にオンライン・レジデンシーで招聘したアリー・シャリフディンが、山口県山口市のdo a frontレジデンシーに参加のため来日。山口でのレジデンスを終えた後で、札幌にショートステイした。2022年9月にインドネシアで開催されたG12サミットに合わせてインドネシアのアートコレクティブがAIRの国際ネットワーク会議を実施するために、天神山アートスタジオも招待されたが、資金難で参加ならず。そのため、アリーが札幌を訪ね、雪の札幌を視察しながら今後の共同プロジェクトについて対話を重ねることになった。

時期：2022年12月

アーティスト情報、これまでの取り組み





交換AIRプログラム オーストラリア

Slow Art Collective

移民の島（仮）



交換プログラムAIRと同時期滞在日本AIRの招聘アーティストがお互いのプロジェクトの進捗を確認しながらそれぞれに活動を行う形で実施した。札幌現地では、東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス(GAP) からGAP賞を受賞した諏訪部佐代子を迎え、Slow Art Collectiveはオーストラリアからオンライン参加となった。(支援：文化庁)

時期：2023年2-3月

アーティスト：

諏訪部佐代子 Suwabe, Sayoko / 同時期滞在日本AIR

加藤チャコ Kato, Chako / Slow Art Collective, メルボルン、オーストラリア

イベント：

- ・オープニング・トーク 2023年2月18日（土）
- ・諏訪部佐代子のオープンスタジオ『Uncertain Contours of Images in Tenjinyama』
2023年2月26日（日）-3月15日（水）
- ・アーティスト・トーク 2023年3月11日（土）



『Uncertain Contours of Images in Tenjinyama』について

諏訪部佐代子

当プロジェクトのコンセプトは、イメージ及び物質の持続可能性の問いを探ることです。私の作品は、イメージの持続可能性と、すべてのものは滅び、朽ちていくという前提のもとに制作されています。札幌北部に位置し、自然と都市双方にとっても親和性がある場所だと言える札幌天神山アートスタジオで、自然の中で実験していくように作品を作ります。この空間は、自然と共存するための理想的な場所であると考えました。今回のプロジェクトでは、腐敗と変容をテーマにしたインタラクティブな作品をいくつか制作します。いくつかのものが風雪によってダメージを受け、劣化していく過程を観察していきたいと思います。

私は、オーストラリアの先住民の哲学や作品に影響を受けたことを認めています。10年前にオーストラリアの先住民の文化についての文章を読んで以来、私は先住民の哲学に魅了され、リサーチを続けてきました。私の作品は、思想やアイデアという側面から、実に間接的に彼らから

影響を受けています。この滞在では、アイヌの人々の哲学について学ぶ機会もあるとありがたいと考えています。このレジデンス・プロジェクトは今年8月9月に行われるオーストラリアNSW州でのレジデンスプログラムへと発展します。

「滞在中の計画」

- ・レジデンス期間＝パフォーマンス期間とし、作品（水溶性のプラスチック彫刻）が変質していく過程を定点カメラで撮影する
- ・札幌軟石を使った彫刻作品を作る
- ・アイヌの人々のリサーチ

アーティスト情報、プログラム詳細





Photo: 小牧寿里

国際公募AIRプログラム

雪のうえにのびる道



アーティスト（海外を拠点とする日本国籍以外のアーティスト）と日本のアーティスト（同時期滞在日本AIR）で構成されたアートコレクティブ（グループ）が、札幌・北海道地域を新しい作品、プロジェクトの出発点として、情報や人、場所との交流、遭遇を含む多様なリサーチ活動を経て、展覧会プランを構築し、レジデンス期間を終えたあと、さっぽろ文化芸術交流センター SCARTS との共催で展覧会を実施した。

さっぽろ天神山アートスタジオは国際公募AIRプログラムを通じて、将来のプロジェクト、プログラムパートナーとの出会いなど、国際的なネットワーク構築も期待している。（支援：文化庁）

期間：2022年11月1日（火）～2023年1月22日（日）

アーティスト：

Alexandre Kato - Soshi Matsunobe（Kato, Alexandre, 松延総司）

Vindur（Gregory, Alana, 升谷絵里香）

主催：さっぽろ天神山アートスタジオ、札幌市



借りてきたもの

Alexandre Kato - Soshi Matsunobe (Kato, Alexandre, 松延総司)

雪の上に杭が突き出ている。白の色上に並ぶ黒色の点がロープで繋がれ、空間をはっきりと区切っている。円山公園でのこの発見は、風景に関する新しい視点を私たちにもたらした。雪面には線が現れ、体積は消えている。

これとよく似た方法で、石炭を用いて線をつくってみる。近代北海道における重要な構成要素である石炭は、ここではさまざまなエピソードを支える構造的要素となっている。さらに、石炭をエネルギー資源としてだけではなく、3億年前に地球上に存在した植物の化石として捉えてみれば、私たちが作った線と、庭園空間との繋がりは明確になるだろう。

作品《借りてきたもの》は庭園に着想を得たインスタレーションである。案内板は植物園を参照しており、また同時に路上で見かけるプライベートな庭園にも着目した。なには

なくとも作庭という行為は、空間に情報を与え、意味を満たすということである。ときとしてそれは支配の道具にもなる。庭を作るということは、個人がその領域/領土との間に、日々新たな関係性を結び、これを自分たちのために存在させる方法だと考えられる。

北海道において私たちが行なった交流の重要性をしっかりと受け止めるために、このタイトルは付けられている。今回の私たちの作品はさまざまな「借りてきたもの」の上に成り立っているのだから。(SM)

- 謝辞 (敬称略)

笠康三郎/有限会社 緑花計画、佐藤真奈美/一般社団法人清水沢プロジェクト、夕張市、北寿産業株式会社、ポプ

アルゴリズムによる記述を超える：野性の実践

Vindur (Gregory, Alana, 升谷絵里香)

まず、私たちは自らが集う大地の伝統的な守り人たち——アイヌの人々——、彼らの祖先の過去、現在、そして未来に敬意を表します。エコロジーに関するその広い知見と自然環境を維持するための技術を重んじることで、この敬意の対象をすべての先住民族へと拡張します。私たちだれもが、21世紀に入り、人々と自然の存続のためにそれらの知識と技術を必要としています。

多くの文化と伝統においてシカはメッセンジャーです。そんなシカが届けるメッセージとは何なのでしょう。「動物たちと波長を合わせると、動物の視点で景色が見えてくる」(山口未花子氏/文化人類学者、「動物」研究)

動物たちと波長を合わせるにはどうすればいいでしょう。彼らのメッセージを聴くにはどうすれば？私たちは動物ではないのでしょうか。自然を重んじ、自然の声を聴き、自然であることから私たちを阻んでいるのは、慣習でしょうか。すべての慣習は無批判に受け入れられる以前に、教え込まれるものです。シカや植物や風との繋がりについて、私たちが教わったこととはなんなのでしょう。自分たちの心と体の可能性について、私たちが教わったこととはなんなのでしょう。日々、私たちの注意はどこに向けられているのでしょうか。どんなアルゴリズムが、私たちの時間を浪費し注意を奪っているのでしょうか。この惑星のエコロジーと調和のうちにありたいという自然の直感を、私たちが再発見し、改めて開発し、実現することは可能でしょうか。エゾシカや湖、モミの木の波長に合わせることが、再び普通になりえるのでしょうか。新たな実践を展開せしめうる心の状態。新たな慣習。これができたら、私たちの生活はどうなるのでしょうか。ぜひこの展示空間で、心を静め、感覚を解放してみてください。

シカの頭蓋を触ってみてください——かつて生き、呼吸をしていたシカです。北海道のトドマツの樹脂を嗅いでみてください。風、支笏湖、エゾシカの声聴いてみてください。世界を観察してみてください——眺めて、さらにその向こうまで眺めて。じっとしてみてください。耳を傾けてみてください。時間をかけて。気づいて。自分の体、ありのままの自分、動物や植物が発するあなた自身のメッセージ……その真直ぐで重みある声を聴いてみてください。

プロジェクトのタイトル《アルゴリズムによる記述を超える》は、ジェニー・オデル『なにもしない』(日本語版は竹内要江訳、早川書房、2021年初版)より。

- 協賛

株式会社フブの森、Yinyang 草木染めオーガニックヨガウェア

- 謝辞 (敬称略)

揚妻直樹 博士 (理学) / 北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 森林園ステーション・南管理部 部長/教授、揚妻芳美/サイエンス工房 わくどき体験プレゼンター、谷地田未緒/国立アイヌ民族博物館研究学芸部 アソシエイト・フェロー、川本真奈美/北海道大学 創成研究機構 学術専門職、林忠一/北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 企画調整室、豊川容子/ nincup アイヌシンガー、鈴木涼子/ 美術家、中村絵美/ 美術家、大黒淳一/ サウンドアーティスト、須之内元洋

アーティスト情報、プログラム詳細





Photo: 小牧寿里

Vindur (Gregory, Alana, 升谷絵里香)





Alexandre Kato - Soshi Matsunobe (Kato, Alexandre, 松延総司)

Photo: 小牧寿里





市民交流事業（市内全域の子どもとの交流）

ぷりぷりぷりんとスリスリスクリン



札幌市を拠点にシルクスクリーンの作家として活躍する風間雄飛をメイン講師に、またゲスト講師として小樽でシルクスクリーン染色を営むAobatoより小菅和成と岩本奈々を迎え、1日に座学と実践を詰め込んだワークショップを実施した。

座学では、様々な版画の技法と仕組み、シルクスクリーン印刷の歴史などを踏まえた内容。実践編は、シルクスクリーンの図版制作、製版、印刷の工程に札幌市全土から集まった24名の子たちが取り組んだ。参加した子ども達からは「楽しかった」「また参加したい」と主催者にとってうれしい感想を多く得た。

日程：2023年2月23日（木・祝）10:30～16:00

アーティストプロフィール

風間雄飛 Kazama, Yuhi

1982年北海道上川郡東川町生まれ、札幌市在住。道都大学(現 星槎道都大学)卒業後、東京造形大学大学院を修了。両大学にて版画を学ぶ。第3回秀桜基金留学賞を受け2009年より1年間ドイツ・ベルリンに滞在。現在は、主にシルクスクリーンを使った版画を制作し、札幌を中心に国内外で作家活動をおこなう。

協力:Aobato (<http://aobato.net/>)



子どもたち、保護者の方の参加理由（終了後のアンケート回答より）

- 色々な先生やアーティストが教えてくれると思ったから
- 面白そうだから。
- シルクスクリーンを体験したことなかったので、興味を持ちました。
- 興味のあるプログラム
- 絵が好きで絵画教室に小1から通っていて、将来、漫画家やデザイナーになる夢もあります。
いろいろな経験をすることで、視野が広がり、より多くの選択肢が出来るきっかけになると 思い参加しました。
- やってみたことのないものに 挑戦したかったから
- 知人がシルクスクリーンの経験者でやらせてみたいと思ったから。
- 工作が好きなお娘ですが、シルクプリントをするのははじめてだったため。
- 作品を10点も刷れるからすごいとおもったことやアーティストがくる。あまり体験できない。版画にまず興味があった。
- 図工や絵を描くのが好きで、新しいことを体験できるいい機会だと思いました。

アーティスト情報、これまでの取り組み









第9回 天神山文化祭 2022

天神山アートスタジオが事業開始した2014年度からコロナ禍を除いて毎年開催している近隣地域との共催イベントであり、近隣の方々と滞在しているアーティストの活動が交差する年間を通じて最大の動員数/日を記録するなごやかなお祭り。

日時：2022年9月18日（日）13:30-16:30

レポート 小林亮太郎

新型コロナウイルス感染拡大後、3年ぶりに天神山文化祭が実施された。当日の天気は小雨であったため、来客者数はそれほど望めないと思っていたが、予想以上の集客数となった。過去の文化祭参加者も多く来館していたが、文化祭をきっかけに今回初めて天神山アートスタジオを訪れた方々もみられたため、市民が文化芸術に触れるひとつの機会として大きな役割を担っていることを改めて実感した。

また感染拡大防止策として、短時間での開催ではあったが、滞在者の紹介も兼ねたワークショップの実施や、地域住民による演奏など、これまでの文化祭と同様にアートスタジオを通じた地域・人材の発掘・紹介という機能を果たすことができた。何よりこれまで完全に交流が途切れていた地元まちづくり会「いきいき南平岸」と文化祭を通じて連絡を取り合うようになったこと、新たな繋がり（北海道インターナショナルスクール、David SweetLow）を生み出すことができたことは、来年度以降の継続性を踏まえると大きな一歩であったと言える。

主催：まちづくり会「いきいき南平岸」、
さっぽろ天神山アートスタジオ、札幌市





■ タイムテーブル

13:30 天香山Jazz in Wood(朝川、片平、伊藤) JAZZ演奏

14:00 シルベストレバルガス、サルサダンス

Tracey Laine Cunningham ワークショップ

14:30 Jack Mclean 太極拳

Rogerio Soares 映像作品紹介

15:00 まちづくり会「いきいき南平岸」うわさんぼ

15:30 David SweetLow 楽器演奏

13:30-16:30 まちづくり会「いきいき南平岸」地域産品紹介

・ショップバトキカイ ショップ

・いけばな小原流はなの会 いけばな展示

・北海道インターナショナルスクール、アーティストのワークショップ通訳サポート

■ 参加したアーティストや各団体からのフィードバック

- 年代や国籍も様々な国際フェスティバルになった。(まちづくり会)
- 年度開催できたことで、来年度に向けての大きな自信となった。(まちづくり会)
- 一年に一度、この様な場を提供して頂き、心から感謝しております。(はなの会)
- 人前で発表する場をずっと待っていた。参加できて嬉しかった。(アーティスト)
- 直接人と会うことでしか伝わらないことがあるということを実感した。(アーティスト)
- ワークショップを通じて、地域住民と関わることができた。この様な経験ができるのも天香山ASの大きな魅力だと思います。(アーティスト)

イベント詳細



AIR ネットワーク事業

アーティストの滞在制作の現場

AIR in Hokkaido vol.02



「AIRはネットワークそのものである」これまでも国内外のAIR拠点などとポジティブなネットワークをつくってきたさっぽろ天神山アートスタジオでは、アーティストの訪問や滞在制作活動を受け入れる団体・個人とのネットワークを積極的に構築しています。2014年の開館より、天神山アートスタジオを拠点にリサーチ活動のために広い北海道をさらに移動して活動するアーティストは国内外問わず多くいました。北海道がそれほど大きい場所であること、また札幌が道内リサーチの拠点（事前情報の収集や活動計画を立てるベースキャンプ）として機能していることに、アーティストの思考や行動を通じて改めて気づかされました。そのため、アーティストが道内各地で充実した活動を行うことができるように、そしてそれぞれの地域でアーティストと道内各地の熱意ある活動を行っている個人や団体を接続する役割を天神山アートスタジオが果たしたいと考えるようになり、AIR運営者、支援団体・個人の相互の情報交換のためにも、北海道内のネットワークはますます必要性を高めてきています。

昨年度から継続的に道内運営者のオープン・ミーティングを開催しています。2022年度は、札幌文化芸術交流センター SCARTSとの共催で『SCARTSラーニングプログラム vol.003』としてフェイストゥーフェイスのミーティングを実施しました。（支援：文化庁）

日時：2023年1月22日（日）14:00-16:00

会場：札幌文化芸術交流センター SCARTS 2階 SCARTS スタジオ

オープンミーティング参加：

ヒミツキチこひつじ（斜里町）、アトラボ北舟（豊頃町）、旭川市在住有志（オンライン）、当別アーティスト・イン・レジデンス（当別町）、みるとーぶ（岩見沢市）、清水沢プロジェクト（夕張市）、ツギガタアートヴィレッジ（月形町）、アーティスト・イン・レジデンスあさひかわ（旭川市）

主催：さっぽろ天神山アートスタジオ / 一般社団法人AISプランニング、札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)、札幌市

◆ミーティング参加団体の紹介が充実したりレポート
by 成田真由美



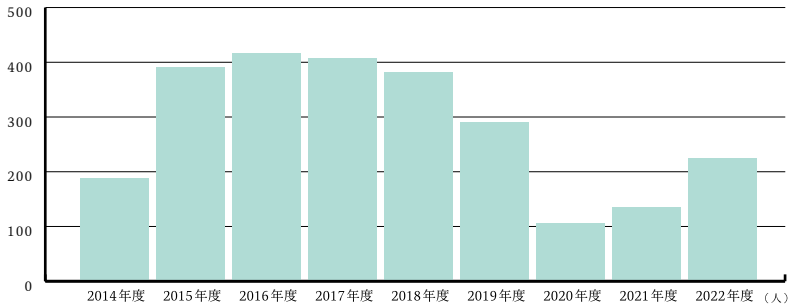
◆地図でみるAIR in Hokkaido
アーティストの滞在制作の現場
Google map



2014 - 2022年度 滞在アーティストに関するデータ

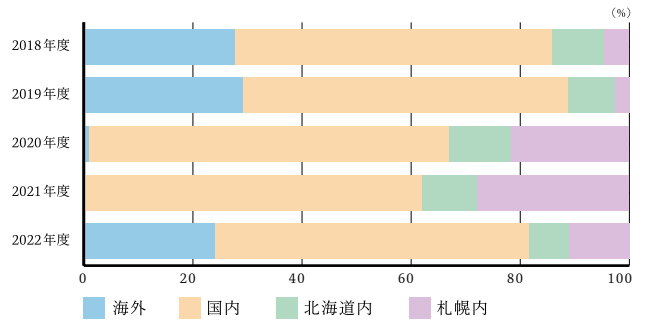
滞在スタジオ利用者数推移

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
188	391	416	407	382	291	106	135	225



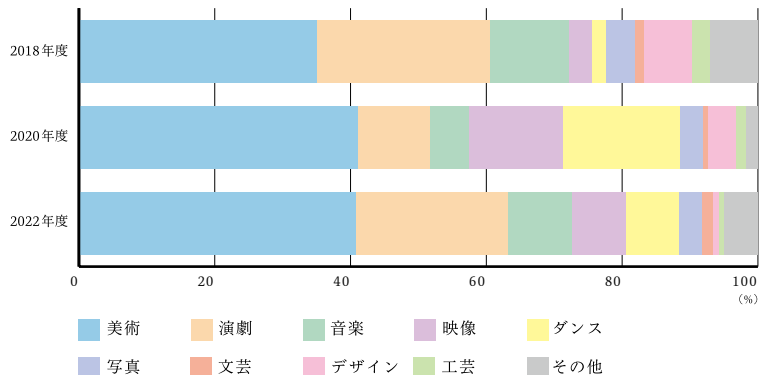
活動拠点推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
海外	27.7	29.2	0.9	0	24
国内	58.1	59.5	66	62	57.5
北海道内	9.7	8.6	11.3	10	7.5
札幌内	4.5	2.7	21.7	28	11



主な活動分野

	2018年度	2020年度	2022年度
美術	35	41	40.7
演劇	25.5	10.7	22.5
映像	11.7	5.7	9.3
音楽	3.3	13.9	8.1
ダンス	2.1	17.2	7.8
写真	4.2	3.3	3.5
文芸	1.4	0.8	1.6
デザイン	7.1	4.1	0.8
工芸	2.6	1.6	0.8
その他	7.1	1.7	5



滞在アーティストからのフィードバック

(滞在スタジオ利用アンケート回答66件より)

2022年度は札幌市内・道内・そのほか国内外からのべ225人のアーティストなどが天神山アートスタジオに滞在し活動を行いました。滞在したアーティストにアンケート調査を行っています。国内80%、海外91%が初めての滞りで、残り国内20%、海外9%は2回以上滞在したことのあるリピーターアーティストです。

1. さっぽろ天神山アートスタジオの利用目的

滞りする目的は主に3つで、以下の通りの結果です。国内AIR拠点と比較して圧倒的に天神山アートスタジオを個性化しているのは②の札幌市内における芸術文化事業に関連した滞在であり、短期的成果がわかりにくいとされるAIR拠点施設が、創作段階を含む鑑賞・参加型コンテンツの創出に直結している明快な結果だと考えます。同時に、札幌市内で芸術文化事業を主催するほかの事業者にとっては、天神山アートスタジオを利用することによる予算節約のメリットが確保されているといえます。

- ①「自主的なAIRとして」国内46.3%、海外54.4%
- ②「札幌市内の招聘団体が主催する事業の出演・参加/登壇するため」国内51.9%、海外18.2%
- ③「天神山アートスタジオの主催・企画運営する事業に参加するため」国内1.9%、海外27.3%

2. 天神山アートスタジオを知り利用したきっかけ

『過去に滞在したことのある人からの紹介』が、国内35.8%、海外40%で最も多く、ついで『市内招聘元からの紹介』国内30/2%、海外20%であり、3番目に『公式ホームページ』国内26.4%、海外30%となっています。天神山アートスタジオは、主催事業を除き滞在するアーティスト本人がAIRにかかる経費を自己負担する「セルフ・ファンディング」型のプログラムがメインです。そのため、AIR参加経験を希望するアーティストは、経費自己負担という条件にみあう内容の滞在制作活動ができることを期待していると想定することができ、そのために信頼する友人・知人からの紹介に頼るといった傾向があると考えています。この結果から天神山アートスタジオが、アーティストから「よい場所だ」とおすすめしてもらえAIR拠点だ、という評価が得られていると読み取れます。2番目の理由も、札幌市内のほか事業者から招へい者の滞在場所として天神山アートスタジオが認知されていることに連結する結果ではないでしょうか。

3. アーティストからの評価

シンプルな設問ですが、「天神山アートスタジオを利用してみていかがでしたか？」に対して、『1点：とても悪かった』から『6点：とてもよかった』まで6段階の選択式回答は以下の通りです。『6点：とてもよかった』国内74.5%、海外72.7%、『5点』国内20%、海外18.2%、『4点』国内5.5%、海外9.1%と全ての回答は6段階評価の4点以上をもらうことができました。

その理由の多くは、『自分自身の活動に発展的な機会となった』、『施設が環境が設備が整っていること』、『札幌・北海道地域固有のリソース』に集中しており、海外アーティストには『施設からの生活情報の提供』『施設を利用する一般市民との交流』も好意的な評価の理由とされています。

また、「天神山アートスタジオがAIR拠点としてユニークだとも思われる点、高く評価できる点があれば教えてください」という設問に対し、以下のようなフィードバックが寄せられています。(一部を掲載しています)

- これまでに参加したレジデンスでは、レジデンスが置かれている地域にダイレクトにフォーカスすることが多かったのですが、さっぽろ天神山アートスタジオは、北海道全土の入り口のように感じられた点がユニークだと思いました。リサーチや実践のテーマにより、アウトプットの可能性の幅が広がるのではないかと感じています。(木内 祐子)
- 決まった用途でなくてもアーティストの希望によってどんな目的でも滞在出来る柔軟性が素晴らしいと思います。(二神 健)
- 都心までのアクセスも良く、自然に恵まれる環境に占めている点、そしてスタッフの日々の対話とサポートは 高く評価したい。「他の滞在アーティスト・スタッフとの交流」という本来のレジデンスの姿が経験できなくて残念ですが、コロナの状況がさらに落ち着いて、海外の受け入れが復活した頃に再び滞在できたら嬉しいと思います。また天神山へ向うのは楽しみにしています。(Jaime Humphreys)
- 札幌市という都市でありながら、自然との距離感が近いので、アートやビジネスシーンと自然環境への両面にアクセスしやすい

ところが良い。リモートで仕事をしているため、札幌市内のコワーキングスペース (SCARTS) が近距離にあるのも便利だった。今回はコロナ渦であまり体感できなかったが、公園内に位置し、利用者が自由に立ち入れるコミュニティスペースとしての機能もあるため、地元市民との交流の場としても可能性を感じる。(ハンフリーズ 優紀)

- 自然豊かで街中でもあり、一般人の行き来も多いところ。(Komachi Goto)
- 緑に囲まれ、神社が二つあり、落ちつける。10分くらい歩けば、お店があり、便利。(永田ちかこ)
- 市民にひらけた文化施設で、アートと地域がふかく結びついている点。大きな施設でいろんなジャンルのアーティストに対応できる点。スタッフがフレンドリーな点。子連れを受け入れてくれる点。サバイティカルとしても利用できる点。自費での利用にしてもコストがかなり低い点。(華輪美知子)
- 色んなアーティストがいること、職員さんの人柄、環境が良いと思う。(関戸哲也)
- 国内レジデンスは他に滞在経験がありませんが、これまで滞在してきた海外レジデンスと比較して、市民の憩いの場や、勉強、遊びの場にもなっている施設は珍しいのではないかと感じました。レジデンスと周辺と繋がりが作品の広がりにもつながる可能性を感じました。また、小田井さんを始めスタッフさんの協力的な体制や繋がりが、作品リサーチや制作過程において非常に良い効果、流れが生まれることに感謝しかありません。(升谷絵里香)
- 他のレジデンスは知りませんが、設備や立地環境が良く、施設が地域に根付いているところが素晴らしいと思います。(小西佐和)
- スタッフの方がアート活動内容を理解してくれて、アドバイスをいただけたのが大変貴重でした。(前田穰)
- 施設の職員の方がとても協力的であること。歴史のある場所であること。(数間啓乃)
- 滞在費が安く、インターネットや部屋のスペースも十分に使えるので、創作活動によかったり、周りが公園の中なので自然の中でリラックスする事が出来る事が素晴らしい。(泉洋一)
- 自然に囲まれている、一般市民との距離の近さ(Aki Nagasaka)
- 全国のアーティストインレジデンス施設の紹介や、そのほかアート関連の資料やアーカイブが豊富でした。日中、市民の方の利用が多い点も、施設の雰囲気として魅力的でした。(塚本恵理子)
- 多数のアーティストと交流する機会が持てる。(山田百次)
- レジデンスが、近隣の住民の方にもつねに開かれていること、札幌市内でアクセスがよいこと。(加藤雅子)
- 制作物に集中できる環境があり、設備も非常に整っている。市内へのアクセスもよく、自然に囲まれた恵まれた環境だと感じた。また、施設内での交流も盛ん、かつ、施設の方も最大限情報共有くださるので、活動が大変しやすかったです。(上川藍)
- 様々な領域の滞在者を受け入れていて、成果発表をするかしないかは自由(木村充伯)
- 他ジャンルの方々とここまで交流できたのは初めてでした。(綾門優季)
- アーカイブが充実している。これまでに滞在した人の名前が毎年毎にまとめられていたり、関連書籍がまとめられていたり国内外の情報が集約されておりとても参考になる。布団をレンタルするというのはユニーク。このシステムは素晴らしい。(土方大)
- ロケーションや自然に恵まれた環境が、アーティストらが考えたり制作したりできる場所として提供されているところが良いですね。札幌市内で便利ですし、山が展望できる所もよいですね。(Mitchell, Dan / ダン・ミッチェル)
- 札幌の歴史や物語は、北海道の中でも特にユニークで、日本文化との折り合いも面白いですね。天神山の人たちは、とても温かいです。(Syarifuddin, Arie / アリー・シャリフディン)
- 天神山アートスタジオを特徴づける要素は多々あります。まず最初に挙げられるのは、神社の横に位置し、素晴らしい公園の中にあるという環境です。日本の文化や日常生活に触れたり、札幌市内へ探索することもできたりします。設備的には、とても快適で清潔でしたし、スタッフの方々もとても親切で丁寧でした。(McLean, Jack / ジャック・マックレーン)
- 人がいいですね。それと、日常の喧騒から離れているところもいいですね。個人的な制作活動をしている際に、海外からの経験豊かで刺激的な生活をしている多くのアーティストらに会えることも嬉しいです。スタッフの方々もとても親切です。(Wahyu Permana, Lalu & Syahmina / ラル・ワヒュー・バマナ&シャミーナ)
- 施設周辺の環境、神社や、雪、キツネ、そして日本庭園がある天神山公園内に位置していること。アーティストにとって必要なことを大切にしていること。(Kato ,Alexandre-Takuya /アレクサンドル-たくや 加藤)
- 一番良かった点は、地元の方々との交流の機会があったこと、他のアーティストたちとの出会いですね。それと、天神山の施設には、アーティストが一時的に住み、制作をする設備が整っています。(Kalaee, Mahboobeh /マホブー・カレイ)

4. AIRのあとの計画 (予定)

アーティストは天神山アートスタジオでの滞在制作での経験を具体的な成果 (outcome) として発表する計画があるかどうか尋ねた設問に対して、国内56.3%、海外72.7%が、『具体的な計画がある』または『なんらかの形にして発表したい』と回答しています。

2023年12月1日発行

撮影：小牧 寿里、スタッフ

データ資料作成：小川 真由子、風間 雄飛（滞在者・イベント）

執筆・編集：小田井 真美

デザイン：真砂 雅喜

発行：札幌市

2022年度AIR事業の一部は、文化庁令和4年度アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流事業、（文化庁令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業）により実現しました。

スタッフ：

- 管理運営マネジメント/統括：漆 崇博（一般社団法人AISプランニング）
- 管理運営：小川 真由子、小林 亮太郎（一般社団法人AISプランニング）、
風間雄飛、深澤 優子
- コーディネーター：小川 真由子、小林 大賀、小林 亮太郎、鈴木 萌
- コレスポネンズ：関根ちあみ、五十嵐千夏
- ドキュメント：五十嵐千夏、小林 大賀、小牧 寿里
- AIRディレクター/事業設計・企画：小田井 真美

さっぽろ天神山アートスタジオ

〒062-0932 札幌市豊平区平岸2条17丁目1番80号（天神山緑地内）

TEL 011-820-2140

info@tenjinyamastudio.jp

tenjinyamastudio.jp

SAPP
RO



市政等資料番号：01-D05-23-1914
広報印刷物登録番号：R5-1-133

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

一般社団法人
AIS プランニング

さっぽろ
天神山
アートスタジオ
Sapporo Tenjinyama Art Studio

謝辞（時系列、プログラム別、敬称略）

学校法人 田中学園、門脇ファーム（月形町）、Jazz in Wood/朝川 茂樹、伊藤 忠、片平 詠子、都築 ひろみ/焼菓子つきみ、メイ・イン（ヘーゼル）・ウォン、天神山珈琲店、就労継続支援B型事業所 オープンドア、島袋道浩、藤木 正則、北海道旭川 斉藤牧場、美瑛放牧酪農場、シルベスト・レバルガス、まちづくり会「いきいき南平岸」、いけばな小原流はなの會、北海道インターナショナルスクール、上杉 高雅/Studio π Glass Factory、札幌芸術の森、根子 香代/月寒公園シェアライブラリー、佐野 由美子/CAI03ギャラリー、小菅和成・岩本奈々/Aobato、チュン・チャン 陳文俊、小堀 秀平、本家 晶子、小川 大志、田中 エミリオ、成田 真由美、龍口 桂、SCARTSテクニカルチーム、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、ヒミツキチこひつじ（斜里町）、アートラボ北舟（豊頃町）、旭川市在住 AIR コーディネーター有志（旭川市）、当別アーティスト・イン・レジデンス（当別町）、みるとーぶ（岩見沢市）、清水沢プロジェクト（夕張市）、ツキガタアートヴィレッジ（月形町）、アーティスト・イン・レジデンスあさひかわ（旭川市）、Do a front（山口市）、**RESULT**

[Alexandre Kato + Soshi Matsunobe]

笠 康三郎/有限会社 緑花計画、佐藤 真奈美/一般社団法人清水沢プロジェクト、夕張市、北寿産業株式会社、ポプ

[Vindur]

揚妻 直樹 博士（理学）/北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 森林園ステーション・南管理部 部長/教授、揚妻 芳美/サイエンス工房 わくどき体験プレゼンター、谷地田 未緒/国立アイヌ民族博物館研究学芸部 アソシエイト・フェロー、川本 真奈美/北海道大学 創成研究機構 学術専門職、林 忠一/北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 企画調整室、豊川容子/nincup アイヌシンガー、鈴木 涼子/美術家、中村 絵美/美術家、大黒 淳一/サウンドアーティスト、須之内 元洋、株式会社フブの森、Yinyang 草木染めオーガニックヨガウェア

[同時期滞在日本AIR（諏訪部 佐代子）]

辻石材工業株式会社、戸島 由浦、羊屋 白玉、アイスマンズ、東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス（GAP）、毛利 悠子、加藤チャコ/Slow Art Collective

[交換プログラムインドネシア/派遣（梅田 哲也）]

Jatiwangi Art Factory、documenta fifteen、Sato, Daisuke、Wandschneider, Kirsten、Jos/TOKONOMA

過去と2022年度に天神山アートスタジオに滞在したアーティスト、プログラムにご参加・来館くださったみなさま、いつも励ましてくださる近隣の方々、海外及び日本国内・北海道内のAIR運営者のみなさん

<https://tenjinyamastudio.jp>



THE TENJINYAMA CHEESE CAKE RECIPE

by Kato, Alexandre



Ingredients

Crust

100g of melted butter
225g of Lotus speculoos

Filling

480ml of fresh cream (from Hokkaido!)
680g of cream cheese (Philadelphia)
75g of sugar
1 or 2 lemon
1 teaspoon of cardamom powder

Crust

- crumble the speculoos (tip: take them out of the plastic packaging and place them in a cloth, close well, and crush them with a rolling pin)
- Melt the butter in a double boiler
- Mix the melted butter and the crushed speculoos in a bowl
- In the bottom of glasses or verrines, for the «crust» mixture, flatten well so that the mixture is compact and evenly spread, then place in the freezer while you prepare the filling

Topping

- Beat cream in a bowl until stiff. Add a bit of sugar.
- In another bowl, beat Philadelphia cream cheese until smooth and creamy. Add sugar, lemon juice, cardamom
- Gently fold cream into Philadelphia cream cheese (mix gently, without «breaking» the whipped cream)
- Pour over the specula base and flatten the top with a spoon. Cover and let stand for at least 6 hours, ideally overnight!



01-D05-23-1914
R5-1-133

**SAPP
RO**

tenjinyamastudio.jp